



# 龍門

題字は石野忠氏の揮毫

発行者  
**関東小山田会**  
(鹿児島県加治木町小山田を愛する会)  
第8号  
平成25年6月発行

## 第13回 関東小山田会 総会を終えて



会長 一之方信良

会員の皆様にはお変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。

一昨年は東日本大震災により中止のやむなきに至りましたが、今年には昨年引き続き無事開催することが出来ました。ご多忙にもかかわらずご出席頂きました皆様には深く感謝申し上げます。

わずかに年一回の集まりですが、故郷との絆を幾分なりとも深めるよすがになればと、諸先輩のお力により始められたこの会も早くも十四年になります。私も年齢が進んだ所為もあるのでは、故郷を離れはなれ故郷の生活よりも異郷の地の生活が遥かに長くなった今でも、雄大な桜島や霧島の山なみ、波静かな錦江湾などは忘れたい思い出です。また故郷の方のお付き合いは、本会以外にも高校の同窓生の集まり、

あるいは以前の職場の県人会（共に年四回程度開催）などがありましたが、いずれも言ってしまうと暖かい話のなかでこころを暖める何かがあるのを実感します。小学唱歌「故郷」ではありませんが、「兎追いしかの山」小鮒釣りしかの川、夢は今もめぐりて、忘れがたきふるさと」なのでしようか。お聞きするところでは、ふるさと加治木も新生始良市として躍進されているようです。各地で地震とか噴火などの自然災害の可能性が取りざたされる昨今、大正三（一九一四）年の大噴火から来年一月で百年になるといふ桜島の活動が気になる所ですが、ふるさと南国らしい雄大なそして緑豊かな風景がいつまでも変わらないことを心から祈りたいと思います。



最後にになりましたが、会員の皆様の更なるご健勝とご多幸をお祈り致しますとともに、来年度の総会でまた多くの皆様とお会いできるのを楽しみにしております。

### 第十三回 関東小山田会

平成二十五年四月二〇日

於・三州倶楽部

参加者（敬称略）

カンコ内は

龍門中学校の卒業生

長谷場 純一

（東京加治木会会長）

上 蘭 悟（恩師）

猪目 寛（26）

伊東 和子（26）

蘭田 豊（26）

溝口 幹男（26）

前田 春雄（27）

石野 忠（29）

前田 信良（29）

前田 時春（29）

前田 博（34）

猪俣 東男（35）

竹下 親光（35）

二之方 信良（35）

柚木 一征（36）

従野 ヒロ子（36）

大庭 友子（37）

角田 敬子（38）

堂森 由美子（38）

古江 健一（38）

森本 令子（38）

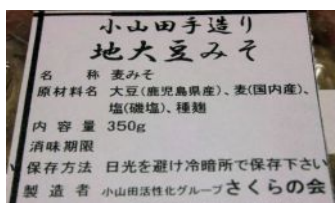
石川 フサ子（39）

東木 浩一（58）



再会の場を目指して「関東小山田会」の懇談の様子をお届けします。

古江副会長の司会進行にて、比較的若い方々の運営協力を頂き和やかに時間を過ぎ忘れて進み、恒例の抽選会では今年も遠く故郷から「さくらの会」の小山田手造り「地大豆みそ」を有志の方に提供して頂きました。改めて御礼申し上げます。



小山田

# この人

紹介

## 吉村大輝君

流通経済大学  
経済学部 三年

平成二十二年暮、鹿児島県内は多に沸いていた。街には南日本新聞の号外が飛び交い、その中心にいた人が吉村大輝君である。

地元鹿児島では文字通り「時の人」となり、知らない人は居ませんが故郷を遠く離れて過ごしている人の中で「えっそうだったの...」という人のために改めて紹介したいと思います。

平成二十二年十二月二十六日、都大路（京都市）を舞台に第六十一回全国高校駅伝が行われました。初優勝を目指し十三年連続四十二度目の出場を果たした鹿児島実業高校のキャプテンを務める吉村大輝君は、竜門小学校く加治木中学校卒業で加治木町小山田の布越出身なのです。

彼は四区を走りトップとの差を二十九秒差まで短縮する好走を見せ、最終区（七区）の陸上競技場内残り三百メートルでの大逆転、

鹿児島県勢初優勝の立役者となったのです。



鹿児島実業卒業後は、東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）出場へ並々ならぬ熱意を示す喜多秀喜監督（往年のマラソンランナー）に誘われて流通経済大学へ進学しました。

自校の箱根駅伝出場は実現していませんが、彼自身は関東学連選抜の一員として二年連続出場して、標高差八六四メートルあり通称「山登り」と呼ばれる五区の箱根の山を駆け上り順位を二つ上げる活躍を見せました。



※以上、小山田布越に在住の犬童照幸氏より情報の提供をいただきました。

五月の日曜日、茨城県龍ヶ崎市にある流通経済大学陸上競技部の寮を訪ねました。

初対面ながら小山田が繋ぐ縁の誼みなのか和やかな中にお話を伺うことができました。四月で三年生となり部内でも副キャプテンとして名実共に流通経済大学をリードしていく立場となった彼の部屋は寮の玄関に近い場所にあり、中を覗くと入口にはカラフルなランニングシューズが整然と並んでいました。電話一本で彼用の特製のシューズがメーカーから送られてくるそうです。



二年連続で箱根の山登りを経験した経緯を聞いてみましたが意外な答が返ってきました。

チームの関東学連選抜に山登りの適任者が他にいなかったため、最初は嫌だったが、練習を重ねるうちに（人知れず車の少ない早朝等の時間帯に実際の箱根を走る）満更でもなく闘志が湧いてきたそうです。

その五区を走った者だけが貰える箱根町からのプレゼントの額を

両手に笑顔で話してくれました。



しかし、今度の正月に行われる次大会は関東学連選抜としての出場がなくなるそうで連続出場するには、流通経済大学が箱根駅伝の予選会を突破して大学自体の初出場を目指すしかありません。

その第九〇回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会は十月十九日に実施予定です。その日に向けて今が大切な時である彼の目には秘めた決意が窺えて頼もしく、向上心豊かな姿を見て、最近の若者への思いを新たにさせられた一日でありました。

関東小山田会として、会の横断幕を箱根の沿道に掲げて応援できる日がくることを夢見たいと思うのは私だけではないでしょう。

また、彼が日本を代表するランナーとして活躍する姿を優しく見守っていききたいものです。

（文責 柚木一征）

会員消息



返信書で寄せられたコメントを  
敬称略にてご紹介します。

■四月一日の人事異動で、蒲生  
総合支所の支所長として着任し  
ました。関東小山田会のますま  
すのご発展をお祈りいたします。  
(始良市 蒲生総合支所長  
湯川忠治)

■毎々お世話になります。本年  
もどうぞよろしくお願いいたし  
ます。ご盛会を祈念しておりま  
す。  
(東京加治木会 会長 長谷場純二)

■三月中旬より四月末まで与論島  
に帰省してます。すみません。  
貴会のご隆盛をお祈りします。  
(奄美旅行センター 本園金盛)

■幹事の皆さん御苦勞様です。  
もう十三回になるんですね。早  
いですね。中学二年生になった  
んですね。がんばれ日本！  
キバイヤンセ関東小山田会！  
(杉並区 上箇悟)

■小山田出身の先輩方のご活躍  
を大変心強く思っています。又、  
同級生の方々が小山田出身者の  
世話役として頑張っているらし  
やる事を併せて誇りに思います。  
関東小山田会のご隆盛を心から  
お祈り申し上げます。次回は是  
非参加させていただきます。  
(加治木町 川野威朗)

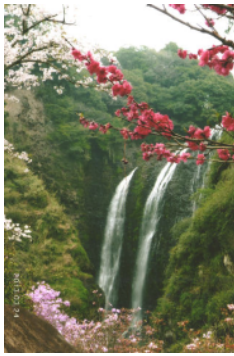
■幹事ご苦勞様です。毎回会報  
が届くのを楽しみにしています。  
箱根駅伝での吉村君の活躍を掲  
載して下さい。  
(東久留米市 石野忠)

■御盛会を祈る。朝、夕のウォ  
ーキングを楽しんでいます。房  
総の海を、川を釣り歩いては小  
山田を想って懐かしんでいます。  
(船橋市 猪俣真人)

■事務局面々のご尽力で今年  
も懇親総会開催の運びとなり、  
大変うれしく思います。小山田  
会が長生きできるかどうかは、  
若い世代の参加・出席が唯一の  
カギとなります。壮年期、青年  
期の方々にも小山田関係者が大  
勢おられると思いますので、口  
コミで輪を広げましょう。  
(調布市 猪目寛)

■久しぶりに鹿児島弁でお話  
しできるのを楽しみにしていま  
す。  
(市原市 大庭友子)

■小山田会の皆様は益々御元  
気で御過ごしのことと存じます。  
私も早いもので帰郷三年が過ぎ  
ました。今、自宅のリフォーム  
中です。何時までかかるかとい  
つたあんばいです。帰省の折は  
ぜひ御一報下さい。(同封の写真  
は)故郷の春です。



(始良市 猪目妙子)

■毎回御連絡下さり有りがと  
うございます。東京も新しい名  
所が出来てとても楽しみにして  
います。今年春は私事で忙し  
く時間が取れそうにありません。  
皆様によりよくお伝え下さいま  
すようよろしくお伝え致します。  
(宇治市 齊藤知子)

■今年はお断念願います。皆様  
によりよくお伝え願います。  
(春日部市 坂元忍)

■三月中旬より先日まで帰郷  
しておりました。小山田会の皆  
様によりよくお伝え下さい。盛  
会を祈念申し上げます。  
(稲城市 猿渡義弘)

■ご連絡、ありがとうございます  
です。膝が悪く、歩くのが困難な  
ので欠席致します。  
(茂原市 地久里シヅ子)

■毎年、三月から十月まで田舎  
に帰っています。  
(松戸市 上萬カズ子)

■皆様、御無沙汰しております。  
現在、上海にて中国系ソフト開  
発会社を支援中です。起業十年  
約百人企業で九十五%日系から  
お仕事を頂いています。新しい  
顧客の開拓しております。上海  
より皆様のご健勝をお祈りし  
ております。  
(川崎市 新富征人)

■いつもお世話になりました。誠  
にありがとうございます。  
(松戸市 鈴木昭徳)

■お元気でいらつしやいます  
か。今年小山田会に出席出来  
ると思つてますが残念乍ら、昨  
年から主人が寝たきりになりま  
して毎日介護で大変ですので出  
席出来ませんのでよろしくね。  
(柏市 高橋文子)

■桜の花も咲き楽しみにして  
おりました小山田会ですが足の  
痛いのは困っております。出  
席したい気持ちは山々なので  
が、この痛さには本当に困つて  
おります。大変申し訳有りま  
せんが欠席と言う事で皆様によ  
ろしくお伝え下さい。  
(市川市 田口キヨ子)

■小山田会案内をくださり有  
難うございます。今は二度目の  
心臓手術後の体調が優れず難義  
しております。小山田会の発展を  
お祈りしつつ、欠席させて頂き  
ます。  
(仙台市 田中薫)

■高齢で出かけて行く事、無理  
と思ひます。皆様の御健康と長  
後の発展をお祈り致します。長  
い間連絡いただき会長さん役員

の方々ありがとうございます。  
(相模原市 霧米子)

■ご連絡ありがとうございます。  
都合により出席出来ませんが、  
皆さまお元気で過ごして下さい  
うか。私は相変わらず元気で過  
ごしています。どうぞよろしくお  
伝え下さいませ。  
(大田区 西涼子)

■いつもお手数をお掛けして  
おります。申し訳ありません。  
(古河市 樋口ミツ子)

■先日はお世話になりました。  
ありがとうございます。今回  
も欠席させていただきます。盛  
会を祈ります。  
(八王子市 藤野正廣)

■小山田会の開催おめでとう  
ございます。故郷の仲間が一同  
に会し懇談出来ることは素晴ら  
しいことです。当会の今後益々  
のご発展を隆盛を心より祈念致  
します。小生体調調すぐれず現在  
透析中で行く事が出来ません。  
ご参加の皆様宜しくお伝え下  
さい。  
(市川市 古江哲夫)

■いつもお世話になっておりま  
す。健一は今、鹿児島に帰って  
おります。月末に草加に帰って  
まいりますので、皆様方にお会  
いできるのを楽しみにしている  
と思ひます。よろしくお願ひ致  
します。(草加市 古江美知子)

■日頃の御無沙汰をお許し下  
さいませ。小山田会を楽しみに  
しておりますが誠に残念です。  
同時期に加治木から兄夫婦が上  
京する為に四月二十日にはバス  
ツアーを計画しておりましたの  
で勝手ながら欠席とします。次  
回を楽しみにしておりますので  
悪しからず。上記よろしくお願  
ひ申し上げます。  
(市原市 森アツ子)

■いつもお世話になります。高

齢の母を見ておりました都合が  
つきません。又の機会に出席し  
たいと思ひます。宜しくお願ひ  
致します。  
(富士吉田市 山本信子)

■昨年春に鹿児島へ帰郷いたし  
ました。  
(始良市 米森幸江)

**原稿募集中!**  
小山田の思い出、最近の  
状況、旅の思い出等何でも  
結構です。ご投稿を待たせ  
て頂くことと助かります。  
下記へお送りください。  
〒225-0021  
横浜市青葉区  
すずき野 2-4-1-103  
(編集担当) 柚木 一征

編集後記

諸先輩の皆さまのご苦勞によ  
り設立された本会も徐々に恒例  
化どころか高齢化しつつありま  
す。

本会を広く周知するために会  
報発行を実施して第8号となり  
ますが、若い方々の会員発掘が思  
うように捗らない現状です。皆さ  
まのお力を結集して会の存続の  
ために努力していきたいと思ひ  
ます。

また、会の存在をふるさとで周  
知するために関東小山田会の拡  
大版として、ふるさと小山田の地  
で開催して、まさに年代なき同窓  
会を開催するという企画を検討  
できないかと考えます。多くの  
方々のご賛同が不可欠となりま  
すが、皆さまのご意見をお寄せ頂  
ければ幸いです。

(柚木)

